

ていり 市議会だより

■発行：天理市議会
 ■編集：議会広報編集委員会
<http://www.tenri-gikai.jp/>

〒632-8555
 天理市川原城町605
 TEL.0743-63-1001
 FAX.0743-63-4502

No. 51

2010年 2月15日



議場における 新たな取り組み!!

12月定例会より、質問者席・答弁者席を新たに設け、この場で、議員が質問をし、また市長をはじめ理事者の答弁がありました。

この様子は、インターネットによるライブ・録画中継を実施していますので、どうぞご利用ください。

(録画中継は公式記録ではないため、会議録が掲載されしだい消去となります。)

CONTENTS

12月定例会ほか	2
議員の出席状況	3
常任委員会審査の概要	4
議案等の議決結果ほか	5
一般質問	6~8
意見書(要旨)	9
とびくすほか	10

12月 定例会

第4回定例会は、12月4日に開会し、平成21年度一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正など多数の重要案件を審議し、すべて原案どおり可決し、17日に閉会しました。

4日の本会議では、会期を18日までの15日間と決め、議事に先立ち、去る10月18日の補欠選挙で当選された山本治夫議員の議席の指定を行い、当議員から挨拶がありました。その後、欠員となっていた文教民生委員会委員に山本議員を、



市民経済委員会の委員に北田議員を、閉会中に議長より指名されたため、その報告がありました。

続いて、議事日程に入り報告1件、承認案1件が上程され、それぞれ了承・承認しました。また、平成21年度一般会計補正予算ほか10議案について、市長から提案説明があり1日目を散会しました。

再開された8日の本会議では、市民経済委員会の委員長（廣井議員）並びに副委員長（榎堀議員）の互選の報告があり、議事日程に入りました。

1議員からの一般質問のあと、上程された議案について質疑があり、続いて、

11議案を各常任委員会に付託して審査することとし、2日目を散会しました。

10日から15日の間に各常任委員会が開催され、それぞれ付託議案を審査し、いずれも原案どおり可決しました。

再開された17日の本会議では、5議員からの一般質問の後、各常任委員会に付託された11議案について、各委員長より報告があり、いずれも原案どおり可決しました。

次に人権擁護委員の推薦についての諮問案が上程され、長柄町の橋本喜代子氏を承認しました。

続いて農業委員会の委員の推薦についての推薦案が

上程され、廣井議員が指名されました。

その後、意見書5件（9ページ参照）が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

最後に、追加日程として発議案1件が上程され、原案どおり可決することとし、本定例会を閉会しました。

※今回の定例会において、議場に手話通訳者を招き、手話による同時通訳を試行しました。

今後も議場、議会のバリエーションの充実を目指し検討してまいります。



活力と潤いのあるまちづくりを目指して

余寒なお厳しき折、市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市議会は昨年6月に議会基本条例を制定し、その後、市内各校区におきまして議会報告会を実施いたしました。開かれた議会・討論する議会・衆知する議会・行動する議会を目指して、これまで以上に議会を充実・強化し、また、行政との連携を密にして、皆様の要望にできる限り対応できるよう努力する所存でございます。

どうか今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。



議長
北田 利光

議員出席状況（議会、各種委員会）

平成21年1月～12月

議会は1年に4回の定例会と必要に応じ開催される臨時会があり、また行政の委員会や協議会などにも議会選出の委員として出席しています。これらの状況は次のとおりです。



議 会

委員会等の名称	人員	会議日数	出席延人員	委員会等の名称	人員	会議日数	出席延人員
定例会（本会議）	19	12	225	臨時会（本会議）	19	1	19
常任委員会（4委員会）	5	16	80	議会運営委員会	6	23	135
議会広報編集委員会	6	12	69	予算審査特別委員会	9	1	9
議会改革推進特別委員会	19	7	115	決算特別委員会	9	1	9

行政委員会等

注）会議等が開催されていない委員会などについては省略しています

委員会等の名称	人員	会議日数	出席延人員	委員会等の名称	人員	会議日数	出席延人員
監査委員	1	18	18	社会福祉事業団理事・評議員	1	2	2
山辺広域行政事務組合議会	7	3	20	社会福祉協議会理事会	1	3	2
農業委員会	3	12	34	社会福祉協議会評議員会	1	3	2
表彰審査委員会	2	1	2	シルバー人材センター理事会	1	3	2
暴力団排除推進協議会	1	1	1	てくてくてんりウォーキングフェスタ実行委員会	1	4	3
天理山辺防犯協議会理事会	1	1	1	都市計画審議会	5	1	5
天理山辺交通対策協議会	1	1	1	育英会	1	1	1
国民健康保険運営協議会	2	2	3	公民館運営審議会	1	3	3
人権教育推進協議会	1	16	16	社会教育委員会議	1	5	5
人権ネットワーク会議	2	5	5	「天理っ子」育成推進本部委員	1	1	1
男女共同参画プラザ運営審議会	1	2	2	青少年健全育成天理市民会議	1	4	4
総合計画審議会	5	4	18	文化センター運営審議会	2	1	2
介護保険事業等推進協議会	1	5	5	明るい選挙推進協議会	1	1	1
地域包括支援センター運営協議会	1	2	1	地域公共交通活性化協議会	1	1	1
休日応急診療運営協議会	2	2	2	天理の環境と命を守る会理事	5	1	5
市民会館運営審議会	1	1	0				

常任委員会審査の概要

文教民生委員会

一般被保険者療養給付費及び高額療養費の増額。

意見・要望

◎インフルエンザワクチンに関する市民への情報提供と啓発を要望。

可決された議案

●財産の取得

〔内容〕市立各小学校にデジタルテレビを購入するため、4千801万6千5百円を落札した事業者と契約を締結するもの。



市民経済委員会

可決された議案

●平成21年度国民健康保険特別会計補正予算

〔内容〕歳入歳出ともに1億3千171万9千円を増額。インフルエンザの流行に伴う受診見込みによる一

◎平成21年度市立病院事業会計補正予算
〔内容〕歳入歳出それぞれ432万円を増額。新型インフルエンザの患者入院医療機関に対する、人工呼吸器整備事業の県補助金を受け、2台を購入するもの。
●国民健康保険条例等の一部改正
〔内容〕国民健康保険、介護保険、及び後期高齢者医療の保険料の延滞金を軽減するため、同条例及び介護保険条例並びに後期高齢者医療に関する条例について、それぞれ所要の規定を整備しようとするもの。

意見・要望

◎保険料のなお一層の徴収

率向上に努められるよう要望。

建設水道委員会



可決された議案

●水洗便所改造資金貸付基金条例等の一部改正
〔内容〕平成22年4月1日より水道事業と下水道事業を統合し、「上下水道管理者」を置くことについて、関係条例の規定を整備しようとするもの。

●水道事業の設置等に関する条例の一部改正
〔内容〕水道事業と下水道事業の統合により、地方公営企業法を適用するとともに、上下水道管理者を置くため、関係条例の規定を整備しようとするもの。

意見・要望

◎統合による事業運営については、経営の透明性を高

め、健全化・効率化に努められるよう要望。

総務財政委員会



可決された議案

●平成21年度一般会計補正予算
〔内容〕障害者関係扶助費、心身障害者・老人・乳幼児等各福祉医療助成費、農業施設災害復旧費の増額、子育て応援特別手当の執行停止による減額、人事院勧告による人件費の調整。

意見・要望

◎新設された地域活力基盤創造交付金の情報を、早く的確に収集され、各課で内容を十分協議の上、有効に活用されるよう要望。

●市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

〔内容〕雇用保険法等の一部を改正する法律に基づく船員保険法及び地方公務員災害補償法の一部改正に準じて、従前は適用除外となっていた船員保険法の被保険者である非常勤の職員についても本条例の適用を受けよう改正しようとするもの。

●天理市基本構想を定めることについて
〔内容〕社会経済情勢の変化に的確に対応し、総合的かつ計画的なまちづくりや行政運営の指針となる新たな基本構想を定めるもの。

意見・要望

◎過去10年の総合計画の総括・検証の上、今後の実施計画に反映されるよう要望。
●財産の取得
〔内容〕グループウェア用パソコン及びプリンタを購入するため、落札した事業者と契約を締結するもの。

意見・要望

◎グループウェアシステムの活用が効率的に行われているか精査されるとともに、

会派構成表(届出順)

◎幹事長 ○副幹事長

平成21年11月16日現在

会派名称	所属議員		
民主クラブ	◎加藤嘉久次	○山本 治夫	平井 守
会派新風	◎東田 匡弘	○西辻 正美	榎堀 秀樹
響友会	◎大橋 基之 廣井 洋司	○三橋 保長 堀田 佳照	飯田 和男
クリエイティブ天理	◎佐々岡典雅	○岡部 哲雄	北田 利光
無会派	吉井 猛 松井真理子	寺井 正則 荻原 文明	中田 景士



研修等により目的意識及び操作能力の向上に努められるよう要望。
●財産の無償貸付け
「内容」藤井町周辺地域における携帯電話の利用向上及び地域住民の利便向上を図るため、2月に竣工予定の移动通信鉄塔施設等を(株)NTTドコモに無償貸付けしようとするもの。

他議会から視察に

(11月～1月)



○木津川市議会(京都府)
・議員定数の削減について
○幸手市議会(埼玉県)
・議会基本条例について
○江東区議会(東京都)
・議会基本条例について
・学生議会について
○彦根市議会(滋賀県)
・議会基本条例について
○長崎市議会(長崎県)
・議会の活性化について



平成21年第4回(12月)定例会

●議案等の議決結果●

全会一致で可決した議案

- 【予算案】 ○21年度一般会計補正予算 ○21年度国民健康保険特別会計補正予算
○21年度市立病院事業会計補正予算
- 【条例案】 ○市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
○水洗便所改造資金貸付基金条例等の一部改正 ○国民健康保険条例等の一部改正
○水道事業の設置等に関する条例の一部改正
- 【発議案】 ○市議会委員会条例の一部改正
- 【その他】 ○天理市基本構想を定めること ○財産の取得(教育用デジタルテレビ)
○財産の取得(グループウェア用ノート型パソコン及びプリンタ)
○財産の無償貸付け(移动通信用鉄塔施設等)
- 【承認案】 ○専決処分の承認を求めること(新型インフルエンザの感染の拡大及び重症化を防止するとともに、ワクチン接種に係る市民の経済的負担を軽減するための補正予算ほか5件の条例改正)
- 【報告】 ○損害賠償の専決処分の報告(水稻被害、車両損傷事故、他2件)
- 【諮問案】 ○人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
- 【推薦案】 ○農業委員会の委員の推薦
- 【意見書】 ○子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書 ○21年度補正予算の適正な執行を求める意見書
○経済成長を実現できる平成22年度予算の編成を求める意見書
○新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書
○警察官の増員を求める意見書

※意見書は議会の考えや意思を表明するため、内閣総理大臣をはじめ関係機関に提出しました。要旨については、9ページに掲載しています。

一般質問

12月定例会では、2名の議員が会派代表質問を行い、また、4名の議員が一般質問を行いましたので、その件名と要旨を掲載します。詳細は市議会ホームページ（会議録の閲覧と検索）をご覧ください。

民主クラブ

加藤嘉久次 議員
(一括質問)

産廃問題の今後について

問 10月の市長選挙で、命の水がめを守ることをマニユフェストの一番にかかげ当選されました。そのことは産業廃棄物処理施設の建設に反対する手段として、奈良県知事に対し、設置許可処分の違法、または、撤

回の行政訴訟が認められたと考えます。今年度の予算にも産廃関係で500万円が、いつ、どのような条件が整った時に裁判を起こすのですか。

答 これまで再三申し上げたように訴訟を直ちに起こすというものではない。事が起こったときに、即座に対応できるように原告団の組織化を進めている。まずは用意をし、いつでも動ける体制にしておくことが、市長として一番大切なことだと認識しています。

(市長)

問 県に対して裁判を起こすことは一つの方法であるが、その前に市長が作った水道水源保護条例をもっと強固なものとし、戦えるシステムを再構築して、継続的に反対運動が続いていることをアピールすることが必要です。例えば水道水源保護審議会の開催は、条例では会長が必要だと認めるときに開くとなつていますが、定期的に開くほうが、積極的に反対運動が行われていると感じます。条例を変える予定はありますか。

答 私が就任後、いわゆる後追いの形で作った水道水源保護条例の持つ役割は、おおむね達していると考え、事案が生じたときに、それに応じて審議していただきます。一方で、今まで以上に命の水がめを守るため根本的なアピールの方法を考えていかなければと考えている。

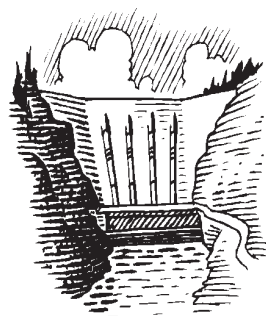
(市長)

問 反対運動が固定化しつつあるという意見もあり、今一度、業者の経理的な基礎を徹底的に調べ、経理的基礎不適格を理由に設置許可処分撤回の署名運動を今一度奮い立たせる必要があると思えますが、いかがですか。

答 平成17年に廃棄物処理法が改正され、その中で不誠実な事業者に対し、知事が許可を取消すことができるとある。実際の判例にもあり、署名しても、その効果は見えにくいとの思いから、先の市長選挙で水がめを守ることを一番目に掲げた事により、市民の皆様に関心を持っていただいたと信じ、「町から町へ」の中の「市長の手紙」などを使い、産廃問題はまだ生きて

いるということをきちんと市民に伝え、また新たな手法を使って反対運動を進めていきます。

(市長)



響友会

大橋 基之 議員
(一括質問)

南市長の再選後、3期目の考え方をお聞きます。

産業廃棄物処分場のこれからの動向について

問 根抵当権が抹消されましたが、今後どのような展開、可能性があるのですか。

答 処分場設置に進展があり、今後の事業者の動向を考慮して、守る会・市議会・行政が一体となって、取り組んで行くと思っております。

(市長)

道路整備について

問 その後の仮称九条バイパスの進捗状況と、上総、

喜殿、国道24号線へのアクセス道路についてお尋ねします。

答 市からの要望書を提案提出後、目立って県事業の進捗はありません。県は都市計画道路事業として、取り組む必要との考えのようで、市としては天理橋線の計画決定変更内容を検討しながら、今後県と連携し、事業化に向けて努力して行きます。

上総、喜殿、南六条の側道整備事業も、地元の説明会、用地買収も進められ、早期完成の動きを考えています。

(市長)

集中改革プランの評価

問 中間管理職の組織形態配置についての考え、財源の確保についてお尋ねします。

答 団塊の世代の職員能力を生かし、権限を持たせながら、仕事の意欲、責任を持たす方法で、市政運営を考え、質の高い住民サービスを心がけています。

歳入についても、市税の収納率、受益者負担の適正化、市有財産の有効活用に

取り組み、シャープに対し
ても業務存続のお願いをし
ています。(市長)

問 高齢者対策の介護施設
幼児の保育所の充実、西中
学の二期制の問題について
お尋ねします。

答 子供も介護も大事です。
全国市長会でも主張してい
ますが、国が国策として農
業、中小企業と同じように
やってもらわないと困ると
思っています。二期制につ
いては持ち合わせの資料が
ないので、教育委員会から
何かの意思表示をしてもら
い、現状を報告出来るよう
にしておきたいと思えます。
(市長)

寺井 正則 議員

(一問一答)

市民の安心安全の 確保について

問 ^{※1}「救急医療情報キット」
配布事業を導入する考えは、

答 有効な手段であると考え
え、実施に向けて関係機関
などと協議に入りたい。

(市長)

問 AEDの設置場所を掌
握しているか。また、全て

の設置事業者に、届出の協
力を要請する必要があるの
では。

答 市内の公共施設は把握
しているが、民間は把握し
ていない。早速、民間につ
いても把握していきたい。
届出の協力を要請すること
についても、その手法を工
夫したい。(市長)

問 「AED設置」の表示
を建物の外に看板やシール
で表示する必要があるの
ではないか。また、「AED
設置マップ」を全戸配布す
る考えは。

答 いざという時に、即座
に役に立つように、各施設
の入り口等に掲示していく
ことも必要と考える。「A
ED設置マップ」について
は、近く改定する防災マッ
プの中に工夫して加えてい
く。(市長)

問 本市の学童や生徒にBLS
教育を取り入れる考え
は。

答 実際の現場で役に立つ、
有効でいい方法と考えるが
どのような内容や形態が可
能なのか、今後研究してい
きたい。(教育長)

問 幼児二人同乗の「三人
乗り専用自転車」の購入費

助成や貸出事業に取り組み
考えは。

答 通常の自転車と違って、
ある時期を過ぎると、ほと
んど使われないうという現実
もある。具体的な現実の姿
を見ながら、制度化できる
ような方向に持っていきた
い。(市長)

問 昨年の原油価格の急激
な高騰から、マイカーの利
用を控えたり、また、メタ
ボリック対策や、健康づく
り、環境対策などに効果が
あることから、自転車の利
用者が増加している。今後、
自転車道の整備など、自転
車の安全利用のための環境
整備が必要ではないか。

答 天理市の道路整備計画
は、自動車と歩行者を分離
することからスタートして
いるので、自転車にも考慮
した再整備というのは、現
状では非常に困難である。
市道におけるバリアフリー
化を推進しながら、交通安
全教室等で自転車の利用者
によるマナーの向上を啓発
していきたい。(市長)

^{※1} その人がどんな病気で、どん
な薬を飲んでいるのか、緊急の通報
先は誰かといった救急医療情報を入
れたキット。

^{※2} 日常生活の中で、突発する健
康危機に、即座に判断し、とるべき
行動(目の前で人が倒れたときに、
適切に対処すること等)をまとめた
プログラムのこと。

東田 匡弘 議員

(一問一答)

山の辺の道・龍王山を 中心とした観光行政推進を

問 豊かな地域資源を活用
する観光交流の推進ビジョ
ン・観光PRを強化・観光
客等の増加・近隣市町村と
の連携について、具体的説
明を。

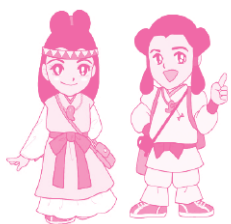
答 観光素材の発掘、近隣
市町村との連携、歩く観光
のブランド化と情報提供の
充実を図る、観光協会と連
携し、イベントの充実等を
進め、ホームページ・観光
パンフレット等による情報
発信により、「山の辺の道」
のブランド力の強化を図り、
テーマに沿った広域的な取
り組み、地域間交流や体験

型観光の視点を取り入れ、
自主的なまちおこし活動を
推進する。(市長)

問 ウオーキング中心の素
通り観光となっていて、
「集客」という観光の力を
「消費」という地域の潤い、
活力へとうまく繋げること
が出来ていない現状をどう
考えるか。広域的な観光推
進の具体的計画説明を。

答 全国の注目を集める平
城遷都一三〇〇年祭が実施
されます。それを機に、近
隣市町村及び県との連携協
力を図り、改善策を検討し
たい。(市長)

問 先日龍王山に向かい現
地を再確認してきたが、良
好な状態ではない。進入路
では、倒木等による危険放
置があり、美化景観とは程
遠い状態となっている。最
低限必要とされる駐車場も
なく、この状況では、観光
に行こうとする気持ちさえ
奪う実態がある。これで観
光行政の推進といえるのか
?また、龍王山南城からの
眺望の素晴らしさ等を観光
啓発に活用すべき。
答 龍王山の倒木等につ
いては、訪れたハイカー等か



ら「ハイカー道をふさいでいる、通れない、危険である。」等の連絡も受けている。観光箇所のパトロールの強化と、観光PRの充実を図っていきたい。

(市長)

荻原 文明 議員

(一問一答)

医療費一部負担金の減免実施を

問 市民の医療費負担は限界です。医療費一部負担金減免制度の未実施は、国民健康保険法第44条により違法という解釈が確認されています。医療費減免を実施していただきたい。

答 医療費の負担がかなり圧力になってきている。医療費一部負担金減免は、国がモデル事業を実施中です。その結果と軌を一にしてこれに合わせるよう努力していきたい。

(市長)

生涯学習・社会教育について

問 天理市生涯学習推進基本計画の見直しについてどのように考えているのかお

尋ねします。

答 平成6年に策定された天理市生涯学習基本構想の見直しに着手したい。

(教育長)

問 公民館は、住民参加と住民自治に基づく生涯学習・社会教育の中心施設ですが、公民館の講座・文化教室の活動を制限する開催要綱を見直し、関係機関、地域住民とともに、講座・教室の充実について検討するべきです。

答 受講者が特定の人に固定されたり、少人数の教室開催が継続していること等の状況を改善するために講座・教室の開催基準を設けた。できるだけたくさんの方々に使ってほしいというのが当然の目的です。いろんな意見を聞きながらよりよい利用の仕方を考えてま

(教育長)

問 生涯学習・社会教育の専門家として社会教育主事、司書、学芸員がいます。専門的役割を担う職員の資格取得についてどのような計画があるのでしょうか。

答 時代の変化、多様で高度な知識、技術の学習や心の豊かさ、生きがいの追求

など豊富な学習の機会が求められている。社会教育指導主事等の指導者の確保、適正な配置は当然検討していかなければいけないと考えている。

(教育長)

佐々岡典雅 議員

(一問一答)

3選目出馬について

問 2期目出馬時は、3月定例会で表明し、政策も述べられました。今回は、

4月の臨時議会でもなく、6月定例会で出馬を表明されました。そのうえ政策の具体的な説明がなかった。是々非々を重んじる市長に敢えてお聞きします。議会に対し、ルールを履行してほしかったが、市長は心残りには思いませんか。

答 議員各位にお気遣いをいただき私自身、立候補の判断に悩み、自分の心の葛藤などで、議会に対し表明が遅れたことは今でも心残りです。

(市長)

天理市の観光ビジョン・未来像について

問 本市は宗教文化都市で

す。共存共栄を考えての観光ビジョンが望ましく、山の辺の道を重視した活性化は不可欠です。現在の年間集客数は13万人程で、新たな発掘・発想が求められます。そこで、年代層を問わず子供から高齢者まで楽しみ、遊び、学び、元気の出る、癒される、誰もが何度も行ってみたい所が必要であると考えます。

答 いよいよ観光ビジョンの作成に着手します。新たな発想、観光素材の発掘、県・近隣市町村の連携、ウォーキングコースのブランド化、イベントの充実等、早々に固めたいと考えています。

(市長)

問 商店街の協力、天理教の協力を得て新たな観光開発が問われています。私は道の駅、スーパー銭湯、地産地消、歴史探訪館等がリンクした発想を考えます。

答 山の辺の道の観光素材を活用する事は非常に大切です。農産物を大切に作る観点から市内に3カ所の直売所を実施していただいています。財政面も勘案してビジョン作成に全力を挙げ

たいと思っています。

(市長)

民間企業・資本の誘致について

要望 民間事業者の調査では法整備、地元地権者等の検討結果、リスクが大きいとのことでした。しかし、天理市が何かする時は考える余地があるとのこと。官・民で活性化のための思案を要望します。

他市の成功例を参考にして天理市発展にどう生かすか

問 全国で第3セクター、PFI方式が実践され成功例が少ない事はご案内のとおりです。要因を学び成功する為の実施を求めます。

答 固定観念に捕われず、用心しながら新年度から始まる観光ビジョンに取り組みたい。

(市長)

要望

意見の相違はありますが成功する為の議論は大いにし、本市発展の為、お互い汗をかくことを願います。

※3 公共施設等の建設、維持管理運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う手法

平成21年度補正予算の適正な執行を求める意見書

民主党は新政権において、平成21年度補正予算の執行を停止し、不要と判断した事業は廃止する方針を示している。

同補正予算は現下の経済危機において、景気の底割れを防ぎ、国民生活の安心を確保し、未来の成長につなげるために、事業費で57兆円、財政出動で15兆円となる過去最大の「経済危機対策」を執行するためのものである。

各地方自治体では、補正予算に計上された「地域活性化・公共投資臨時交付金」（1兆3790億円）、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」（1兆円）などを織り込んだ経済対策のための予算が編成され、議会の議決を経て、執行段階に入っているところである。

このようなタイミングでの補正予算の執行停止方針は、各自治体には戸惑いと不安が広がっている。

補正予算の執行が停止される事態になれば、各自治体における経済対策の財源に欠陥が生じ、事業が中止に追い込まれるなど、大混乱に陥ることは目に見えている。経済対策の効果や対外経済環境の改善によって持ち直しの動きがみられる日本経済に深刻な打撃を与えるとともに、過去最悪の厳しい状況にある雇用情勢がますます悪化することが強く懸念される。

前政権の政策を見直し、予算配分の力点を変える場合でも、各自治体が正当に執行してきた経済対策の財源に支障が生じないように配慮することは国会及び政府が果たすべき最低限の責任である。

よって、国会及び政府においては、各地方自治体の経済対策が円滑に実施されるよう、平成21年度補正予算の適正な執行を図られることを強く求める。

経済成長を実現できる平成22年度予算の編成を求める意見書

日本経済は経済対策の効果や対外経済環境の改善などによって持ち直しの動きが見られるものの、失業率が過去最高水準に達するなど、依然として厳しい状況が続いている。新政権においても、景気を確実に底入れ・反転させるため、景気対策を最優先課題とすべきことに変わりはない。

中長期的な経済成長を実現し、国民が経済の成長を実感できるよう、環境やエネルギー、情報通信などの分野の国際競争力をさらに強化するとともに、将来の経済成長の芽となる内需拡大の基盤づくりに重点的に取り組むなど、未来への投資を戦略的に進める必要がある。

よって、国会および政府におかれては、経済の安定成長を実現する基盤を確立するため、平成22年度予算編成に当たっては、以下の施策について、特段の配慮をされるよう強く求める。

1. 太陽光発電の普及拡大、次世代自動車やグリーン家電の普及促進など、環境に優しい経済社会システムを構築すること。
2. 生命科学やエネルギー技術など、世界をリードするわが国の革新的研究や技術開発を戦略的に支援すること。
3. ブロードバンド・ゼロ地域や携帯電話不感エリアの解消のため、過疎地域や山間部のネットワーク基盤を整備すること。

警察官の増員を求める意見書

国民が安心して暮らせる地域社会は国民生活の向上や経済成長の基盤となるものであり、国民すべての願いである。

地方警察官の定員については、平成13年度から平成19年度にかけて2万4230人を増員した結果、警察官1人当たりの人口は平成12年度の557人から、平成20年度は511人となり、刑法犯認知件数の減少と検挙率の上昇に寄与してきたところである。

しかしながら、無差別殺傷事件などの凶悪犯罪、子どもに不安を与える不審者の多発、悪質商法、多様な手口の振り込め詐欺事件などが依然として発生するなど、国民が安全と安心を実感できる「体感治安」の回復は十分とはいえない状況にある。

また、グローバル化による国外逃亡犯の増加、携帯電話やインターネットの普及による匿名性の高い犯罪の増大など、警察を取り巻く捜査環境は厳しさを増している。

平成19年度の地方警察官の退職者数が過去最高の約1万2100人に達するなど、本格的な大量退職期を迎えている中で、国内の治安維持に的確に対応できる警察活動体制の充実・確保が極めて重要な課題となっている。

よって、国会および政府におかれては、国民生活の安全と平穏を確保するための必要な警察官の増員について、引き続き特段の配慮をされるよう強く求める。

子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書

細菌性髄膜炎は、乳幼児に重い後遺症を引き起こしたり、死亡に至る恐れが高い重篤な感染症で、その原因の75%がヒブ（Hib＝ヘモフィルスインフルエンザ菌b型）と肺炎球菌によるものである。細菌性髄膜炎は早期診断が困難なこと、発症後の治療には限界があることなどから、罹患前の予防が非常に重要で、Hibや肺炎球菌による細菌性髄膜炎については乳幼児期のワクチン接種により効果的に予防することが可能である。世界保健機関（WHO）もワクチンの定期予防接種を推奨しており、既に欧米、アジア、アフリカなど100カ国以上で導入され、90カ国以上で定期予防接種とされており、こうした国々では発症率が大幅に減少している。

日本においては、世界から20年遅れてHibワクチンが昨年12月に販売開始となり、小児用肺炎球菌ワクチン（7価ワクチン）も欧米より約10年遅れて今年10月に国内初承認され、来年春までに販売開始の予定となっている。

医療機関においてワクチンの接種が可能となっても、任意接種であるため費用負担が大きく、公費助成や定期接種化など、子どもたちの命を守るための早急な対策が必要である。

そこで、細菌性髄膜炎の予防対策を図るため、政府におかれては、次の事項について、一日も早く実現されるよう強く要望する。

1. Hibワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチン（7価ワクチン）の有効性、安全性を評価した上で、予防接種法を改正し、Hib重症感染症（髄膜炎、喉頭蓋炎、敗血症）を定期接種対象疾患（一類疾病）に位置付けること。
2. ワクチンの安定供給のための手立てを講じること。

新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書

新型インフルエンザはこれまで多くの患者が軽症で回復してきた一方で、子どもや妊婦、高齢者のほか、基礎疾患を有する方などを中心に重症患者が増加するなど、対策の強化が急がれている。

今後、新型インフルエンザの大流行が強く懸念されるなか、ウイルスの性状変化による毒性の増大や薬剤耐性の獲得が生じた場合などに備えて、これまでの対策について不断の検証を行い、新たな対策を講じていく必要がある。

よって、国会および政府におかれては、新型インフルエンザ対策を強化するため、以下の施策の推進を図られることを強く求める。

1. 院内感染対策の徹底など、医療従事者や重症化の恐れのある基礎疾患を有する方などの感染防止対策を強化すること。
2. 重症者に対する適切な医療提供体制を確保すること。
3. 感染拡大およびウイルスの性状変化を早期に探知するサーベイランス（調査・監視）を実施すること。
4. ワクチンの速やかな製造と公的助成による接種体制を整備すること。
5. 地方自治体、医療機関、一般国民に対して迅速・適切に情報を提供すること。



議会報告会を開催！

初の報告会では、「議会基本条例」の制定経過や内容について説明するとともに、1年間に上程された議案とその議決結果について報告しました。

また、参加者の皆さんと自由な意見交換も行い、議会や市政について、報告会の実施方法や内容等について、貴重なご意見をいただきました。

今後はより多くの方々に参加していただけるよう、報告会の充実をめざしてまいります。

開催日	場所	参加者
11/9 (月)	東部公民館	25人
11/12 (木)	柳本公民館	29人
11/13 (金)	櫛本公民館	14人
11/16 (月)	福住公民館	10人
11/19 (木)	丹波市公民館	11人
11/20 (金)	二階堂公民館	1人
11/26 (木)	朝和公民館	10人
11/27 (金)	前裁公民館	4人
11/30 (月)	井戸堂公民館	2人



議員研修会を開催！

1月15日に弁護士ふじわらたけしの藤原猛爾氏を講師に招き、「産業廃棄物処分場問題について」の議員研修会を開催しました。

当日は約2時間の講義のあと、質疑応答、意見交換会がありました。命の水がめを守るため、議会としての対策を検討していきます。



議会改革検討委員会を新たに設置！

議会改革をより一層推進するため、議会改革検討委員会を新たに設置しました。検討委員会委員は次のとおりです。

委員長 吉井 猛 副委員長 荻原 文明

委員 堀田 佳照・北田 利光・佐々岡典雅・平井 守・加藤嘉久次・大橋 基之・榎堀 秀樹

お詫び

平成21年11月15日発行の“市議会だより”第50号のP.5上段の左から2行目の部分に文字が二重に重なっていました。

この部分は、『西中学校のみで』となります。

訂正し、お詫び申し上げます。

今年市議会の飛躍の年でありたいと思っております。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

市民の皆様方もっと傍聴にきてもらえれば質問する議員も、力が入ると同時に、市政の発展と活性化が期待できる場所です。

今議会最終日には、意見書の決議案5件に会派質問・一般質問も多く、時間を延長して終了しました。

市議会はどんどん活性化していきそうな雰囲気です。3月議会には一般質問がもっと増えそうな気配です。

市民の皆様方もっと傍聴にきてもらえれば質問する議員も、力が入ると同時に、市政の発展と活性化が期待できる場所です。

今議会最終日には、意見書の決議案5件に会派質問・一般質問も多く、時間を延長して終了しました。

市議会はどんどん活性化していきそうな雰囲気です。3月議会には一般質問がもっと増えそうな気配です。

市民の皆様方もっと傍聴にきてもらえれば質問する議員も、力が入ると同時に、市政の発展と活性化が期待できる場所です。

編集後記